

社会福祉法人福田会 広尾てくてく 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	現状や工夫している点	改善に向けた取り組み
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	●			新型コロナウイルス感染流行後は、相談室等のスペースも活用をしながら、密を回避するように努めています。	
	2	職員の配置数は適切であるか	●			今年度は、人員基準人数に2名加え、1日4名体制を基本とした配置を行なっています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	●			建物内に、車イスの使用において若干狭さを感じる通路もございますが、概ねバリアフリー化をしております。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	●			毎日職員ミーティングを実施し、業務の進捗状況や、見直しなどを全職員間で共有しています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		●		自己評価および第三者評価を実施する中で、保護者アンケートは実施しておりますが、業務改善まで繋がられていない点多々あります。	今回のアンケート結果を事業所内で共有の上、必要に応じた検討を行ってまいります。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	●			事業所HPにて公開をしております。	今年度は、事業所内で運用しているWEBシステム内でも、保護者の皆さまに公開を行なっていく予定です。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		●		例年、第三者評価機関による評価を実施しては行いましたが、昨年度は行えておりません。	今年度は第三者評価機関による評価を実施予定です。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	●			WEB研修の導入や、事業所内でのミニ研修を定期的実施しています。また、若手職員は、渋谷区内の事業所連絡会での研修等にも参加しております。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	●			個別支援計画作成プロセスの見直しを行うとともに、事業所内で個別支援計画研修を実施しました。アセスメントから計画作成まで、全職員でイメージの共有・意見交換を行った上作成しております。	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		●		アセスメントシートを新たなものに変更する等はしておりますが、インフォーマルアセスメントが中心であり、捉え方によって見立てが変わってくるため、「標準化」と問われると難しい部分があります。	一部、NCプログラム等のアセスメントツールを導入も試みています。今後も、アセスメントの質を向上できるように模索してまいります。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	●			担当者が素案を作成し、ミーティング内で全職員で共有・意見交換の上実施をしております。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	●			今年度より、ダンス等のパフォーマンスが体験できる機会を開始しました。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		●		都度、全職員でミーティングを行い、課題や改善に向けた取り組みについて共有・意見交換を行なっています。	より質の高い支援を提供するには、もう少し細かい部分まで共有・意見交換する必要性を感じていますので、ミーティングをより活用する等、詳細の方法は検討をしております。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	●			子どもの特性に応じて、参加する集団を少しずつ大きくしていく等、スモールステップを大切にしながら必要に応じた計画作成に努めています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	●			毎日、事前に職員ミーティングを実施しています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	●			事後ミーティングが難しい日は、翌日のミーティングで共有をするようにしています。	
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	●			必要に応じて、全職員内で見直しが必要な部分などを共有しています。		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	●			モニタリング会議を実施し、日頃の子どもの様子や課題等を共有・意見交換を行い、個別支援計画の作成に繋がっています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	●			創作活動や体験活動等、余暇の提供を中心に行なっております。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	●			基本的には、児童発達支援管理責任者が参加をしています。	必要に応じて、保育士や児童指導員の同席も検討していきます。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか		●		行事予定の把握やトラブル発生時の調整等は、必要に応じて行っておりますが、保護者を通じて行うことも多く、学校間との情報共有には課題があります。	今後、学校間との連携がより良いものとなるよう努めてまいります。

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			●	医療的ケアが必要なお子さまを受け入れる場合には、併設事業所の看護師にケアをお願いしておりますが、主治医等の連携等は不十分で課題が多くあります。	当事業所単位では、看護師の配置は難しい状況がありますので、今後も受け入れ体制には制限があるのが実情です。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	●			就学前に実施した検査結果等について提出をお願いし、必要に応じて事業所間で情報共有を行なっています。	今後は、より必要に応じた連携体制が構築できるよう模索してまいります。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			●	保護者から希望がある場合等、必要に応じて情報提供を行なっています。	移行時の情報提供の在り方について、検討してまいります。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			●	現状、地域に児童発達支援センターの設置がないため、特に行っておりません。	地域に児童発達支援センターが設置された際には、連携体制を築いていけるよう模索してまいります。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			●	敷地内で、児童養護施設に入所している児童との接点があります。計画的な交流機会は、特に設けておりません。	今後も、他団体との計画的な交流機会は、特に考えておりません。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	●			管理者が、渋谷区自立支援協議会子ども部会の事務局として参画する等、積極的に参加しております。その他の職員についても、区内の児発・放デイ事業所が参加する連絡会に参加することで、地域福祉との繋がりがもてるように努めています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	●			適宜、必要に応じた電話連絡および面談の実施等に努めています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			●	適宜、必要に応じた電話連絡および面談の実施等に努めていますが、ペアレントトレーニング等、専門性を持った支援までは行っておりません。	当事業所の資源で実施できる保護者支援の在り方を、今後も模索してまいります。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	●			契約時に、重要事項説明書等に記載の上、説明を行なっております。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	●			必要に応じて、電話等で情報共有等を行なっております。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			●	現状、保護者同士の連携を目的とした会は開催しておりません。	当事業所における「保護者同士の連携」の必要性について、保護者の皆様にもご意見をお聞きしながら、検討してまいります。
非常時等の対応	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	●			重要事項説明書への記載、および玄関入口への掲示を行なっております。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	●			WEBシステムを通じて、活動内容や行事予定等を情報発信しております。	
	35	個人情報に十分注意しているか	●			個人情報使用同意書に基づき、十分留意の上取り扱っております。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	●			お子様の特性に応じて、絵カード等の視覚的ツールも活用し、コミュニケーションを図っております。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			●	法人主催の行事には、地域住民の招待等を行っておりますが、当事業所単位での行事等では実施しておりません。	事業所単位で、行事等へ招待することは、今後も実施予定はありません。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			●	各種マニュアルの策定は行い、職員には周知を行なっております。保護者への周知は不十分だと感じています。	保護者への周知の方法等について、WEBシステム内での周知等を含め、詳細は今後検討してまいります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	●			様々な想定訓練を、月1回行っております。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	●			WEB研修や、職員会議内での研修実施等、定期的に行なっております。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	●			必要に応じて、身体拘束同意書を作成し、個別支援計画書内にて反映をした上で、説明を行なっております。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			●	食物アレルギーの対応については、保護者の方へ聞き取りを行った上、除去対応を行っております。	除去対応を基本としておりますが、必要に応じて指示書の手配等も検討してまいります。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	●			ヒヤリハットは、データによる管理を行い、適宜ミーティングで共有しております。	